



学校だより

札幌市立駒岡小学校
令和6年1月31日
第11号

縦割り班活動を通して子どもたちの社会性を育む ～リーダーシップとフォロワーシップの両輪で～

児童活動部長

今年は、元日に大きな災害が起こりました。能登半島地震に被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早く復興がなされ、日常を取り戻せるよう願うばかりです。

さて、駒岡小学校では、異学年交流として6年生をリーダーに縦割り班（みずなら班）をつくり活動をしています。全校81名を6班に分け、各班に1年生から6年生まで入るよう編成しています。

本校は小規模の学校のため休み時間の遊び等、日常から学年を超えた交流がなされています。自分と違う学年であっても、ほとんどの子の顔と名前がお互いに分かることは、駒岡小学校の大きな強みです。

縦割り班活動では、日常の自由遊びとは異なり、「協力することの大切さを理解し、お互いに思いやることができること」「上級生の思いやりのある行動や優しい声掛けを通して、下級生が他者との接し方を学ぶことができること」等、他者意識や社会性を育むことを大切にしています。

ここ数年は新型コロナウイルス感染拡大防止で、縦割り班活動を十分に行うことができませんでした。しかし、今年度は約3年ぶりに年間を通して本格的に実施することができました。その中で、お互いのよさや違いを認め合い、助け合うことの大切さに気付くことができる、価値ある活動となっています。

6年生には、みんなをまとめる力、引っ張っていく力「リーダーシップ」が必要です。また、下の学年の子どもたちには、班のめあてを意識し、みんなが楽しめるように自分から協力する気もちをもってできることを積極的に考えていくなど、リーダーを支えていく力「フォロワーシップ」が大切です。

駒岡小学校では縦割り班活動を通して、中心となるリーダー、フォロワーとしてリーダーを支えるメンバーがともに力を合わせ、行事を自分たちの力で創り上げていくことを目指しています。



3学期が始まり、今週末にはいよいよ「スノーフェスティバル」が行われます。これまで6年生から引き継がれた思いや願いを受け止め、5年生が、次年度の最高学年としての立場や役割を意識して開会式・閉会式等の運営をしていきます。みずなら班の中でも、昼食場所を事前に相談したり、「焚火アイテムゲットウォークラリー」の進行をしたりします。また、その後の焚火を囲んで行う班ごとの振り返りでも5年生が中心となります。

思い出に残り、みんなが一丸となって楽しめる「スノーフェスティバル」にするため、子どもたち一人一人が学年に応じた「リーダーシップ」や「フォロワーシップ」について意識し、行動することができるよう私たち教職員も関わっていきます。この「スノーフェスティバル」が、これからの駒岡小学校を自分たちで創り上げていくという思いを高める機会になると信じています。